



びわこ部たより

2021～2022 No3

びわこ部

<https://hama510tori15shira8.wixsite.com/mysite>

EMC シンポジウム

講話「輝き続ける奉仕の心」を聴いて

びわこ部 安田博彦

コロナ禍第5派が収まりかけた11月6日、今期びわこ部の初めての対面活動として「EMCシンポジウム」が開催されました。約40名参加の下、観音正寺岡村遍導住職氏の「輝き続ける奉仕の心」と題した講話を拝聴しました。遍導氏から「奉仕」に対し大きな視野で、色々な考え方を解り易く示唆下さりました。その一端をご紹介しますと

- ① 自分を豊かにするために「奉仕」を行う
- ② 「奉仕」の種は至る処に落ちている。人の縁・繋がりから「奉仕」が始まる
- ③ 義務で行うのは奉仕ではない。成果ではなく何が出来るかで始めるのが「奉仕」
- ④ 他人に知られなくても、自分自身が知った限り・見た限り行うのが「奉仕」
- ⑤ 五文字の番号「ありがとう」を言葉で発する事により、自分を清めることも「奉仕」

国際奉仕のお話の中では、全ての宗教にそれぞれに「奉仕」に対する基本スタンスが異なる。例えば、「物を盗まない」「他人を助ける」「頭髪を伸ばす」「木の実を採る」等 我々にとっては考えられないことですが、宗教や国により奉仕のスタンスが異なるようです。その観点では、我々個人々もそれぞれに「奉仕」に対する考え方は異なるものと思います。「奉仕」という言葉を知識として知ることではなく、各人が納得でき、自分に合った「奉仕精神」を確立して奉仕活動を行うことが肝要かと思えます。そこには、自己の奉仕活動を押し付けたり、強要するものではなく、出来る人が、出来ることを自己の意思と自己の能力に見合った活動をするのも忘れてはならないことです。



メネットの集い

クリスマスリース作り

今年度のメネット活動は新たな取り組みにチャレンジしました。クリスマスシーズン控え、自然の素材を使って手造りの「世界で一つだけのクリスマスリース」の作製。又、開催地は琵琶湖北部の長浜の湖畔会場で行いました。

男性8名女性25名達が満員の会場に集め合い、三原メネット主査の軽妙な指導の元、約2時間、センスと手先の器用を発揮し各人真剣な眼で奮闘されました。直径35cmのリースと4本ロウソクスタンドを両手に満足そうな笑顔が沢山見ることができました。

